

団体名	台湾在日福岡留学生会						
事業名	佐賀文化再発見！地域住民と日本最初の磁器誕生地に探訪する！						
実施期間	2020.11.28						
場 所	佐賀						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	13	8		4	10	9	44名

<実施内容>

本事業の目的は日本の文化や歴史を楽しみながら、台湾留学生の日本に対する理解を深め、地域との交流を促進することである。佐賀県庁と台北駐福岡文化経済代表処から協力を得て、佐賀の名所を探訪したり、文化と歴史を実際に体験したり、現在の佐賀を知りに行き、より密接な理解・交流の促進を図る。参加者は、台湾留學生、在日台湾人以外、台湾人と交流したい日本人も参加した。

まず、九州陶磁文化館へ訪れ、九州における陶芸の発展歴史、館内の貴重なコレクションを鑑賞した。次に、佐賀の陶磁の代表である幸楽窯で、陶磁の生産現場を見学し、現代社会に応じる陶磁生産者の生き方について、経営者から話してもらった。そして、皿の上に画をデザインし、独特な作品を作った。昼飯は、佐賀当地の料理を堪能した。最後に、嬉野の茶染と忍者村を分け、AバスとBバスは交代で活動を行った。嬉野は、茶と温泉で知られている。今回訪れるのは、うれしの茶交流館チャオシルであった。ここで、茶染を体験した。そして、嬉野地域の茶文化、茶生産工場を見学し、お茶と地元のお菓子を味わった。忍者は日本文化の中で独特な存在であり、いくつかの流派がある。佐賀忍者はその一つである。ここで、忍者の服装、武器、技などを見学し、昔の忍者たちの生活を想像することができるようになった。

今回のイベントでは、いくつかの九州の代表的な文化を体験した。ツアーの途中、五感を使い、日本人の方々とのお話を通じて、より深く交流と学びができた。コロナが大変な時期、対策を設け、参加者から協力を得て、安全な旅を目指すことにした。

<記録写真>



集合写真(九州陶磁文化館前)



下絵付き体験(幸楽窯)



お茶工場見学(うれしの茶交流館)

<参加者からのコメント>

テイ さん(台湾)/Cheng Yu Shan

まず台湾在日福岡留学生会方達に感謝したいです。こんな素晴らしいイベントで普段学校で会っている留學生だけではなく、他の学校の留學生の方と交流できてとても嬉しかったです。また元々仲良くしている友達とたくさん良い思い出を作って、佐賀の在地文化を味わいながら、旅で出会った日本人の方と会話できて、とても意味あるイベントだと思います。

今回の旅では、たくさんいいところに行ってきました。最初の九州陶磁博物館では綺麗な陶磁が見れて、日本人の方が親切に案内していただき、とても勉強になりました。次は幸楽窯の社長さんが幸楽窯の歴史を紹介していただきました。またはお皿の色描きの体験もあり、世の中で唯一のお皿ができたことは心より嬉しかったです。独一無二の作品を作って、とても良い経験でした。

私にとって、今回はとても満足していました。茶会館でお茶を味わいながら、のんびり過ごした時間や昼ごはんに出していただいた地方的な豆腐など大変気に入りました。今後もぜひ佐賀県の魅力を体験できるイベントに参加したいです。

ゴ さん(台湾)Wu Hsin Yi

この度は佐賀魅力再発見ツアーに参加させていただき、ありがとうございました。佐賀の秋はとても心地良く、大変楽しかったです。佐賀県立九州陶磁文化館は期待以上の見応え、案内士の説明も分かりやすく、日本と中国や朝鮮諸国の陶磁のゆかりや有田焼の歴史など、陶器と磁器について体系的に勉強できました。企画展の柴田コレクションも素晴らしかったです。また、足を伸ばして幸楽窯に行きました。建物自体は小学校を移築して作られたもので、形可愛く、広くて館内所蔵品の数に驚きました。社長さんに丁寧に案内してもらい、焼き物の作り方など大変勉強になって、絵付けの体験も楽しかったです。そして、うれしの茶交流館ではお茶染め体験できました。お茶で染め物ができるなんて初めて知りました。施設は立派できれいでしたし、自分の力で芸術作品を作るのも楽しくていい体験でした。

今回のツアーは全部初めての場所だったので、食事も体験も良く、いろいろ勉強になりました。会ったことないみんなとも話せたり良いツアーだったなと思いました。今度機会があればまた行きたいです。